

開拓財産 ～むかしのどうぐ～

その1：一般公開に向けて

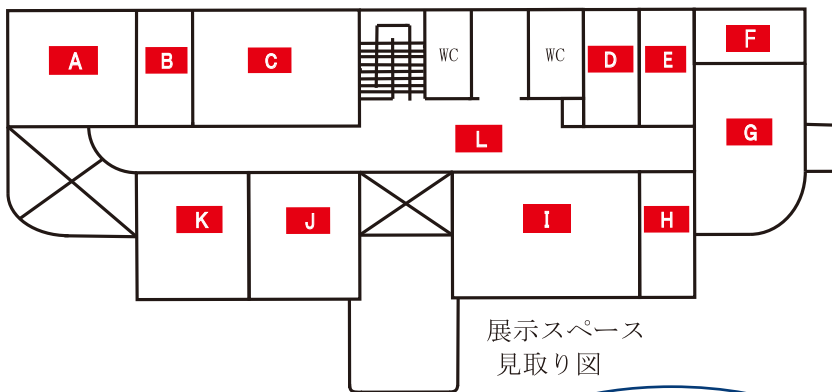
町内外の方から平取町に寄贈された資料のうち、北海道開拓期以降に使用された民具を当町では「開拓財産」と分類し、受け入れをしています。台帳整理されている資料は約400点です。資料の増加に伴い、収蔵場所はこれまでに数回変更されています。

- ①旧上岩知志小学校（現：上岩知志住民センター）→②旧長知内生活館（一時的に収蔵）→③旧振内青少年道場（旧平取高等学校振内分校）（一部展示公開）→④旧荷負小学校（廃校校舎）

平取町教育委員会文化財課は資料の整理収蔵作業を行っており、2019年（平成31年）4月の一般公開に向けて、町内の方々にご協力を頂きながら、旧荷負小学校に収蔵されている資料を再整理、展示構成を検討しております。

展示室となる教室は2階の8教室で、テーマは「商業・生活」、「学校」、「戦争・鉄道」、「林業」（2室）、「畑・稲作（春）」、「収穫（秋）」、「家での暮らし」となっております。また、1階の玄関付近には消防ポンプ車も展示されています。

開拓財産および旧荷負小学校展示施設は、シシムカ文化財だよりで今後1年間ご紹介していきます。どうぞよろしくお願いいたします。（広岡絵美・小林斉子）



- A** 商業・生活
- C** 学校
- D** 戦争・鉄道
- E** 林業
- G** 林業・馬具
- I** 収穫（秋）
- J** 畑・稲作（春）
- K** 家での暮らし
- L** 壁面展示

B・F・H 収納庫



K 家での暮らし
昭和初期・昭和10年以降の家の様子を再現しています。



旧荷負小学校

